
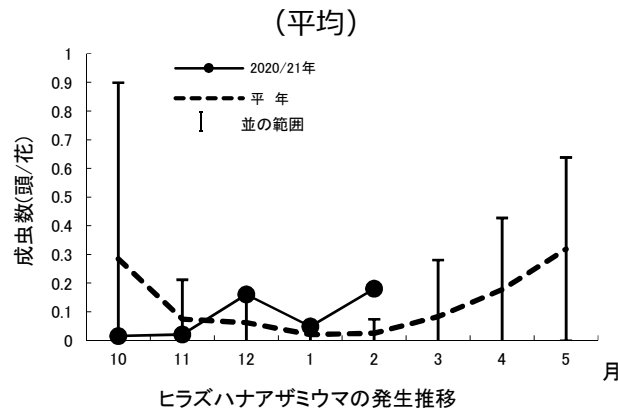
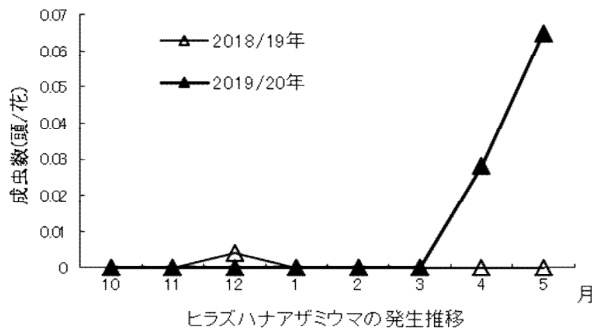


作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① ヒラズハナアザミウマ		
調査結果	2 月の発生量 (平年比)	多	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
		3 月の発生量 (平年比)	多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

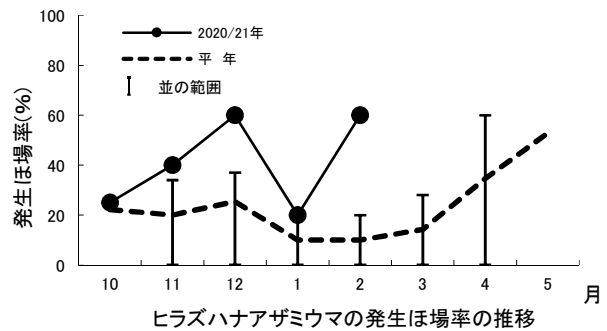
調査結果



過去 2 年間の推移




発生ほ場率



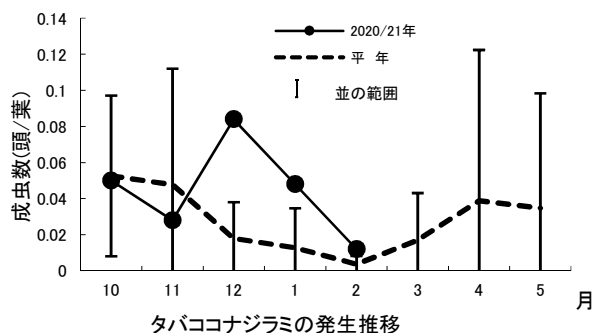
防除のポイント

- ・本種は主に花に寄生し、多発すると産卵により果実へ夕部や果梗部が黒変する。
- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

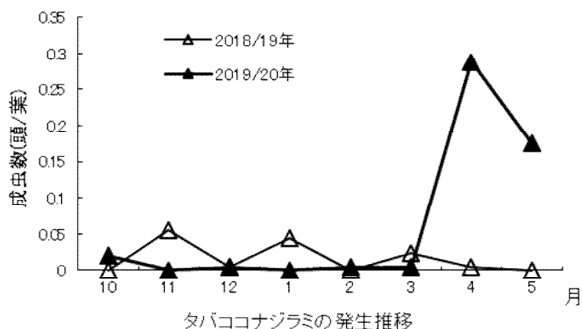
作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② タバココナジラミ		
調査結果	2 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	2 月からの増減傾向	↗	
		3 月の発生量 (平年比)	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

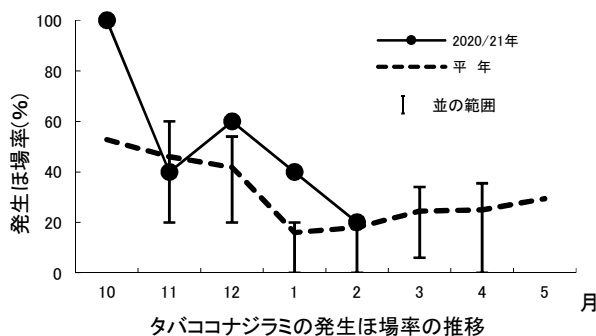
(平均)



過去 2 年間の推移



発生ほ場率



防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

